

令和5年7月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和5年7月25日(火)		
2 開会及び閉会	開会	13時00分	
	閉会	15時45分	
3 出席委員	教育長	三宅泰司	
	委員	河内智美	
	委員	石井希典	
	委員	上西芳樹	
	委員	片山美香	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	岸川和忠	教育次長	島田和男
次長(教育総務部長兼務)	疋田洋一	生涯学習部長	道広浩章
教育企画総務課企画調整担当課長	佐藤美穂	学校指導課長	西山径
学校指導課課長補佐	井原進一郎	学校指導課指導主査	堀脇寿之
学校指導課指導副主査	森阪加愛	学校指導課指導副主査	岩崎拓也
学校指導課指導副主査	佐藤泰輔	教育支援課特別支援教育係長	坪井和美
教育支援課指導副主査	瀬島真紀	教育支援課指導副主査	小林和弘
教育支援課指導副主査	片岡宗	保健体育課指導副主査	吉田明生
教育研究研修センター指導主査	中舗桂子	教育研究研修センター指導副主査	中山佳昭
教育研究研修センター指導副主査	内忠治	教育研究研修センター指導副主査	金見春花
教育研究研修センター指導副主査	長崎有輔	教育研究研修センター指導副主査	鈴木わかかな
事務局 (教育企画総務課主事)	難波実佑	事務局 (教育企画総務課主事)	塩島修二
5 議題及び結果			
議案 第20号	令和6年度使用教科用図書の採択について		原案可決
報告 第20号	岡山市地域協働学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正 承認		

する規則の制定について

6 教育長等の報告[令和5年6月13日(火)～令和5年7月12日(水)]

6/20	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開保育)大元幼稚園	学校指導課
6/21	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開保育)開成幼稚園	学校指導課
6/22	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開保育)中山こども園	学校指導課
6/27	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開授業)桃丘小学校	学校指導課
6/28	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開保育)宇野こども園	学校指導課
6/29	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開授業)福島小学校	学校指導課
6/30	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開保育)西大寺幼稚園	学校指導課
6/30	教育長学校訪問 城東台小学校	教育企画総務課
7/4	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開授業)宇野小学校	学校指導課
7/6	令和5年度指定都市指導事務主管課長会研究協議(研究協議)	学校指導課
7/7	令和5年度指定都市指導事務主管課長会研究協議(施設見学)	学校指導課
7/7	令和5年度岡山市「地域と学校の協働フォーラム」	学校指導課・生涯学習課

7 議事の概要

教育長 全委員 教育長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7月岡山市教育委員会定例会を開会する。 本日は傍聴希望者が12名いる。入室してもらってもよろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ 傍聴される方にお願ひがある。携帯電話など音が出るものは、音が出ない状態にしていただきたい。静かな環境の中で審議を行うことができるよう、皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思う。 もう一点、岡山市教育委員会では、採択結果について、採択期限を超えた9月1日以降の公表としているので、本日の内容について公言しないようにご配慮をお願いします。 日程第1、会期について、本日1日限りとしてよろしいか。
全委員 教育長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 〈承認〉 ○ 日程第2、こちらに6月定例会の議事録があるので、順次ご覧いただき、問題がなければご署名をお願いします。 日程第3、事業報告をご覧になって、何かご質問等があればお願いします。
河内委員	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学びづくりプロジェクトを続けて実施されているが、全体の様子を教えてください。
学校指導課長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度の学びづくりプロジェクトは、昨年度までとは違って、コロナ禍による制限をなくして実施している。まだ幼稚園が多いけれども、今回公開した小学校を見ていると、中学校区での参加が多く、授業後の協議会も活発に行われたと聞いている。授業者も自ら手を挙げて自分がやるという形で、よい流れができつつあると考えている。9月以降、学校の公開が増えると思っているので、委員の皆様にもご参加のほどよろしく願ひする。
教育長 石井委員 教育長	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほかにあるか。 ○ 6月の教育長の学校訪問の状況をお伺いできればと思う。 ○ 城東台小学校は違う理由であって、AMD Aの菅波会長の授業と子どもたちも寄附の取組をされたらしく、6年生を対象にトルコ地震の義援金を自主的に集めて渡す会に菅波さんが来られていて、とてもよいお話をされていた。寄附というと何かを施すような感じになるが、菅波さんいわく親孝行だと。弱い方に助けを与えるというのは、親も最後弱るのだから、そういうことの練習であるとあの方独特の言い回しで言われていた。子どもたちは引きつけ

<p>全委員 教育長</p>	<p>られるようによく聞いていた。今回は種類が違う訪問をさせてもらっている。ほかあるか。よろしいか。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ 事業報告を終わる。 次に、議事に入る前に、会議の公開、非公開について諮る。 日程第6の第21号議案は附属機関等の委員の任免に関する事項に該当し、日程7の報告第21号は個人に関する情報を含み、会議を公開することによって個人の権利、利益を害するおそれのある事項に該当する。そのため、岡山市教育委員会の会議規則第7条第1項第2号及び第5号に基づき非公開としたいと思うが、委員の皆様、よろしいか。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは以上のものは非公開とする。傍聴人の方におかれては、その折には退席をお願いします。 日程第4、第20号議案を学校指導課から説明願う。</p>
<p>学校指導課長</p>	<p>○ 本議案は、岡山市立小学校、中学校及び岡山後楽館高等学校並びに小学校及び中学校の特別支援学級における令和6年度使用教科用図書を選択するものである。 なお、小学校には義務教育学校の前期課程、中学校には義務教育学校の後期課程及び岡山後楽館中学校を含むものとする。 まず初めに、小学校及び義務教育学校の前期課程で使用する教科用図書の採択をお願いします。 委員の皆様には、教科書見本を事前にお渡しして、本日までに独自に調査研究をしてくださっている。教科書見本については、本日同じものを机上に並べるので、審議の際に必要なに応じて参考にしていただければと思う。また、事前にお渡ししている教科書展示会でのアンケートの意見についても参考にいただければと考えている。 なお、種目ごとに採択する教科用図書と採択理由を決定していただくが、進め方については次のように考えている。1、事務局から種目ごとに選定資料について簡単に説明する。2、委員から教科書見本または選定資料について質問や確認事項があれば、事務局が回答する。3、各委員から採択すべき教科用図書とその理由について発表していただく。4、意見が一致した場合は、採択理由について審議する。5、意見が一致しない場合は、どの教科用図書がよいか十分意見交換した後、採決により決定する。この場合、過半数により決定する。6、教育長が採択した教科書と採択理由を確認する。採択理由については3点程度にまとめる。 以上で小学校並びに義務教育学校の前期課程教科用図書についての説明を終わる。 ご質問等があったらよろしく願います。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、種目ごとに進める。 まずは国語について審議する。 国語について説明願う。</p>
<p>教育研究研修センター 指導副主査</p>	<p>○ 国語についての各者の特徴を説明する。 まず、東京書籍である。実生活で目にするテキストや写真、図を取り入れた教材を題材として取り上げ、複数の情報をつないで読み比べることによって言語能力の向上につながるように工夫されている。 続いて、教育出版である。「見通しをもとう」では、思考、判断、表現する過程が児童の問いや吹き出し、キーワードとして分かりやすく示されている。 最後に、光村図書である。児童自らが問いをもち、課題解決に向かうことができるように、児童の思いを出発点とする「問いをもとう」が設けられている。</p>

教育長	<p>以上である。</p> <p>○ 教科書見本または選定資料について質問や確認事項があったら願います。</p>
全委員 教育長	<p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、採択すべき教科用図書とその理由について、各自で検討した結果を案として発表ください。</p>
河内委員	<p>○ 岡山市の子どもの課題として、文章全体の構成を捉えたり、語句に着目して読み解いたりする力が挙げられているが、こうした力を身に付けさせるためには東京書籍あるいは光村図書の教科書が適していると思った。どちらも目標や読み深めるための着眼点が明確に示されており、課題解決を通して語句に着目した深い読みができやすく、文章全体の趣旨や構成を捉えやすい構成になっていると感じた。</p> <p>中でも東京書籍の読みの着眼点というのは、例えば人物の生き方について考えようなど、大きな柱でまとめられており、分かりやすいことと、子どもたちに文章に向き合う視点、学び方として定着するのではないかと考えた。結果として東京書籍の教科書がよいのではないかと思った。</p>
石井委員	<p>○ 私は、東京書籍の教科書を案として選択している。</p> <p>理由は、一つ目として、子どもの意欲や主体性を生む内容になっていると感じたからである。先ほどもご説明があったけれども、実生活で目にすることや子どもに近い内容等を基にして子どもに寄り添った構成、内容になっていて、必要なことを詰め込もうとすることがあまり前面に出ておらず、教科書も読みやすいと思う。物理的な余白も多く、フォントも優しく、絵やキャラクターも優しくて、詰め込まれていないなという、感覚として勉強しようという意欲につながるのではないかと感じている。</p> <p>もう一つは、算数や社会や理科の複合的な勉強にもつながるような事柄が取り入れられており、岡山市の子どもの課題である関連付けるとか読み解くといったところの課題にしっかりと対応できているのではないかと感じた。また、デジタル社会というところにも着目した内容になっていると感じている。</p> <p>欲を言えば、もう少し文章の読み方や解き方のテーマというかやり方みたいなところとか、情報を分析するとか、そういうやり方を直接身に付けるような内容というのもあってもよいかと思った。ほかの教科書ではそういうところがよいところがあった。</p>
上西委員	<p>○ 私も東京書籍を推したいと思う。理由は、各者ともに文章をどのような視点で読むのか、ヒント等をしっかりと意識されて、児童が文章にどう向き合っていくかという点について工夫をされているのもよく分かった。その中でも、「見通す」から始まって「取り組む」、「振り返る」として、特に「取り組む」のところで、めあてのような役割だと思ってくれるけれども、非常にシンプルで分かりやすく見やすい形になっているということで、児童もすんなり文章に向き合っていけると思ったので、その点を評価した。</p> <p>また、下段のところに漢字や用語の説明の欄があり、これは東京書籍と光村図書がよいと思ったが、総合的に見て東京書籍がよいと思った。</p>
片山委員	<p>○ 私も東京書籍を推薦したいと思った。理由は、皆さんがおっしゃったけれども、とても見やすいということ、見開きで写真とか挿絵とか学習の流れがしっかりと示されていたこと、それからこれまでの学びを生かして新たな学びに向き合えるように、過去どんなことがあったかというような問いかけがあり、新たな学びにつなげていくという視点が、流れがあってよいと思った。それから、デジタル社会というか、クロムブックを活用して子どもたちが自分の興味関心や、直接体験できないことを教材の中身とあわせながら参考動画を見ることによって興味をもったり、イメージをしっかりとったりと、主体的に学ぶことにつながりやすいと思った。</p>

<p>教育長</p>	<p>ただ、光村図書をよいと思ったのは、書くことを大事にしており、現在スマートフォン等での入力が多い中、改めて鉛筆を持って書くことは国語の授業で重要だと思ったが、全体を通して子どもたちが主体的に取り組むという意味で東京書籍がよいと感じた。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ それでは、意見が一致しているようなので、国語については東京書籍のものを採択することに決定するが、採択理由について簡単にまとめたいと思う。文章、全体の構成が捉えやすい。子どもが意欲的、主体的に取り組みやすい。レイアウトが分かりやすい。その三点でよろしいか。</p>
<p>教育支援課 指導副主査</p>	<p>○ 〈承認〉 ○ 全体の構成が捉えやすいということ、子どもが主体的、意欲的に学びやすい工夫がされている、そして非常にレイアウトが見やすいということで東京書籍を採択しようとする。 続いて、書写について審議する。 それでは、事務局から説明をお願いする。</p>
<p>教育長 全委員 教育長 石井委員</p>	<p>○ 書写について説明する。 まず、東京書籍である。文字を整えて書くための学習事項が、「学習すること」、「書写のかぎ」として発達段階に応じて分かりやすく示されており、知識や技能の定着につながるように工夫されている。 続いて、教育出版である。「レッツトライ」、「書いて伝え合おう」のページでは、身に付けた書写の力を他教科等の学習に活用できるように関連が図られている。 最後に、光村図書である。書写や毛筆の始まりの学年で基礎・基本の定着ができるように工夫されていたり、筆圧の加え方が数値化されていたりするなどの工夫がなされている。</p>
<p>教育長 全委員 教育長 石井委員</p>	<p>○ 教科書見本または選定資料について質問や確認事項があるか。 ○ 〈なし〉 ○ それでは、前回と同様に、各自で検討した結果を案として発表いただく。 ○ 私は、東京書籍と光村図書を案として選択している。書写そのものが大人になって実生活の中で実用性が減ってきていると認識していて、名前や住所しか手書きすることはないようになってきている中で、読める字を、書けること以上に美しい字で書くというところで、改めてその書写の科目をどう捉えるのかが問われていると思っているけれども、その2者については考えたり話し合ったりする取組が工夫されていると感じた。 それから、光村図書では、6年生の教科書で1年から6年までであったことを日常生活に広げていくというテーマで書写ブックにまとめられており、有名人の方が自分の名前を書いて、その人らしい字を紹介するという箇所もあって、大人の社会に入っていく中で手書きをすることの意味とか大事さというところを感じるのではないかと感じた。</p>
<p>上西委員</p>	<p>○ 私は、東京書籍を推す。理由としては、低学年を中心に児童が教科書に書き込める欄が多いということで、あまり設けられてない教科書もある中、東京書籍はそこが充実していたということと、これも低学年中心であるが、止める、はねるとかはねとか、字の形とかをどの辺に気を付けて書いたらよいかということが非常に分かりやすく記載されていると思ったので、東京書籍を推薦したいと思う。</p>
<p>片山委員</p>	<p>○ 私は東京書籍もよいと思ったけれど、光村図書の教科書がよいと思った。理由は、光村図書と教育出版は考えよう、東京書籍さんは見つけようというコーナーを設けて、課題の内容を自ら気付けるようにされていて、好奇心を刺激して、書いてみようという意欲につながるのではないかと考えた。特に光村図書は、3年生の教科書で大切なポイントを謎解きにして、クイズ形式で楽しみながら自分で興味関心をもって取り組むような仕掛けがしてあり、4年生以上では解説で示されている内容に沿って同ページ中の課題が付して</p>

河内委員	あり、主体的に学習するような仕掛けがあると思った。もう一点、光村図書の場合、ページを高学年では上下で分けて記載して、内容をまとめる部分も見やすい構成にされていると思った。文字や絵や写真の情報も多過ぎず適度にあり、読みやすくよいと思った。
教育長	○ どの教科書も同じような配慮がされており、大きな差異が見つからず、非常に悩んだ。その中で、光村図書の筆順を表すために複数の色で区別する際に用いられている色が鮮やかで、印象深く分かりやすいように感じた。特に初めて文字の学習をする1年生の教科書はその違いが顕著で、大差はないけれども、そういったことから光村図書の教科書がよいと思った。
上西委員	○ 意見が分かれたので、もう少しご意見をいただきたいと思う。 選定資料の中には、石井委員が言われた手書きの機会が減っているというところに、相手や目的に応じて書いたりすることに課題があるのが岡山市の子どもの課題になっているけれど、そのあたりも含めるといかがか。片山委員や河内委員は、光村図書が意欲的に子どもの意欲につながるような工夫があるとされたが、このあたりで追加の意見はいかがか。
教育支援課 指導副主査 教育長	○ 授業で書く機会が多くあるほどよいと思っているが、発行者によってここに書き込めるようになってきているというのがあって、教科書に直接書き込ませるのか、コピーを取って書かせるのか、それとは別に書くドリルやプリントを用意するのか、そのあたりはどうなのか。 ○ 学校によって違う。 ○ 書写ノートいうのを使っているときもあった。ただ、上西委員が言われるように教科書に書けるようになってきているから、それはそれで活用されたらよいと思う。
上西委員	○ 例えば東京書籍の12ページと光村図書の12ページか、同じ筆順と字形のところでそれぞれ工夫があるが、この辺から1ページずつめくっていくと、少し東京書籍のほうは自分で書いてみるところが、ちょっと書いてみようというところで進みやすいのかなという印象をもった。全ページについて見ているわけではないが、その理由で推している。
教育長	○ 先ほど言われた書き込める欄が充実しているということである。 あとは、主体的に学べるという点でいうと、光村図書は「考えよう、確かめよう、生かそう」という学習の進め方、東京書籍でいうと「書写のかぎ」というところがあるので、そのあたりどちらも子どもの意欲を引き出すような工夫はされていると感じる。
河内委員	河内委員が言われた筆順の色分けはどうか。 ○ オレンジと、青い色がはっきりしていて、筆順を見て、子どもの印象にも残りやすいと感じた。
教育長	○ 意見は出尽くしたか。それぞれよいところがあるので、総合的に比べると難しい作業になるが、採決を採らせていただいてもよいか。 東京書籍のほうが良いと思われる方、挙手をお願いします。 光村図書が良いと思われる方、挙手をお願いします。 それでは、光村図書が過半数を超えたので、光村図書を採用させていただきます。 理由だが、一点目は、河内委員が言われた筆順の色分けが分かりやすい点。それから、片山委員が言われた字を書こうとする意欲を引き出すような工夫がされているという点。あと、石井委員が言われた実生活にいろいろ生かせる、手書きの機会を増やすような「書写ブック」の内容が入っている点の三点でよろしいか。
全委員 教育長	○ 〈承認〉 ○ それでは、以上のような三点について、光村図書を採択させていただこうと思う。書写についての審議を終わりたいと思う。 それでは、続いて社会についての審議を行う。

<p>教育支援課 指導副主査</p>	<p>事務局から説明をお願いする。</p> <p>○ 社会についての各者の特徴を説明する。 まず、東京書籍である。写真や図などを用いて、まとめ方の例やポイントが示されている。また、話合いの内容が例示されており、主体的・対話的で深い学びを実現する学習の進め方が具体的に示されている。</p> <p>続いて、教育出版である。「社会科で使う見方、考え方」がキャラクターの吹き出しの中に太字で目立つように示されており、児童が見方、考え方を意識して働かせ、考えたり表現したりできるように工夫されている。</p> <p>最後に、日本文教出版である。どのように考えを深め合っていけばよいかについて、進め方の具体が漫画で示されており、児童の考えも表現する力を高められるように工夫されている。</p>
<p>教育長 全委員 教育長 上西委員</p>	<p>○ 教科書見本または選定資料について質問や確認事項があるか。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、採択すべき教科用図書について、各委員から案を発表していただくと思う。</p> <p>○ 私は、東京書籍と日本文教出版で悩んでいて、決めかねているところで、それぞれ意見を述べたいと思う。</p> <p>まず、東京書籍であるが、高学年で歴史とそれ以外が分冊になっていて使いやすいというのがまず一つ。それから、目次、索引から巻末の年表なども見やすく、単元後にまとめるとして書き込める形式があり、児童にとっても教員にとっても使いやすいところを評価した。</p> <p>日本文教出版だが、よいと思ったのは、社会科の冒頭のところで社会科の意味がきちんと明記されている。問題を見つけ、追究、解決するために調べたり考えたりして、よりよい未来をつくっていこうとする教科であるというように、しっかりと書かれている箇所は少ないので非常に評価できるのかなと思った。</p> <p>また、これは私の専門分野で考えるのだが、憲法の説明が日本文教出版のほうがよいと思った。国民主権と基本的人権と平和主義のところ、どの順番で書くかは、筆者や著者の考え方が出てくるのだが、日本文教出版は基本的人権からときほぐしていっており、僕らの理解からしても説明がしやすいと思ったことと、三権分立のところの説明も、引用されている表が日本文教出版のほうが分かりやすいと私は思ったので、そこはよいと思った。</p> <p>ただ、日本文教出版は、小6の歴史の年表が少し見にくかったのと、あと地方自治のところ、区議会を例に出されていて、当然東京は人口が多いが、全国的に見ると市議会などを例にしたほうが余計な質問、説明などが要らなくてよいと私は思った。</p>
<p>片山委員</p>	<p>○ 私は東京書籍が総合的によいと思う。</p> <p>理由は、やはり単元ごとに設けられている「学習のはじめに見てみよう」によって子どもたち個人が興味・関心をもちやすく、イメージがしやすい。そこで動画にアクセスし、主体的に取り組むところが出発点になるかと考えた。さらに学習の見通しをもつことや、社会的な事象を多面的、多角的に捉えて考え、述べ、解決していくところに何を学ぶのかということが最初にイメージできるのが大きいと思った。娘に一斉授業の中で動画がどんなふうに使われているかを聞いてみると、授業の最初にみんなで大きな画面に映して見ていると。そうすると、みんながいろんなことを言って、この授業はこんなことを勉強するのだと面白くなると言っていたので、つかみというのはすごく大事だと感じた。</p> <p>さらに、東京書籍の場合は随所に学びを広げる様々なコンテンツが用意されていて、学習者によって社会が好きな子もいれば、そうではない子もいると思うけれど、それぞれの個性や進路等で興味・関心に沿って繰り返し個別学習も可能という意味で、東京書籍は工夫をされていると感じた。</p>

河内委員	<p>また、学習の流れについても、一貫して「つかむ、調べる、まとめる」となっている。調べるという作業も大事だと思うが、どのように調べるかという調べ方も丁寧にガイドされていて、学びやすいのではないかと思い、東京書籍を推薦したいと思った。</p>
石井委員	<p>○ 単元の構成を見て、「つかむ、調べる、まとめる」といった単元の過程を踏まえた構成になっている、東京書籍と教育出版の教科書がよいと思った。2者ともつかむ過程の学習を通して、学習問題をつくり、学習計画を立てて、調べる過程の学習を進めて、まとめをするといった一連の学習を繰り返す中で、社会科の学び方が身に付いていくと感じた。中でも東京書籍は、「まとめる」で年間を通して様々なまとめ方や興味深いまとめ方と出会えるようにいろいろな例示等の工夫がされていて、社会科の楽しみ方の一つが味わえると思った。</p> <p>それから、高学年の教科書が2分冊になっているのも、持ち運びがしやすく、よい点と考えて、東京書籍がよいと思った。</p>
教育長 上西委員 教育長	<p>○ 私は、東京書籍を案として選択した。</p> <p>理由は、先ほど社会を学ぶ意味というのが最初にあるのはよいと言われ、私もそう思うが、一方で違うアプローチもあると思っていて、東京書籍はいきなり大義が出るのではなくて、自分の周囲から段々と広がっていき、自然と社会に興味をもてるような構成になっていると感じる。その中で、子どもが好奇心をもてるように、自然とその興味をもっていくような仕掛けがされていると感じる。大事なところではないかもしれないが、キャラクター等で自然と向かいやすいようなところもあると思っている。</p> <p>また、デジタルコンテンツが充実しており、発展的な学習ができるようになっていくことも挙げさせていただきたいと思う。</p> <p>これも皆さん言われていたけども、「つかむ、調べる、まとめる」という過程が思考過程として目に入りやすく、自分の頭の中に残り、大人になっていくときにそういう思考パターンが使えるということが問題解決に役立っていくのではないかなと感じた。</p>
全委員 教育長	<p>○ 上西委員は日本文教出版のところのよさを伝えられたが、いかがか。</p> <p>○ 東京書籍も同程度によいと思っている。</p> <p>○ よいところがそれぞれあるが、東京書籍で採択をさせていただく。</p> <p>観点であるが、先ほどの流れでいうと主体的に学べるというところ。子どもたちが学びの見通しをもって主体的に学べる工夫をしているのが一番大きいと思った。私も見させていただいて、まとめるとかつかむ、調べるというレイアウトが分かりやすく、子どもが主体的に使える工夫をされている。それから、物理的に分冊で使い勝手がよい。そして、デジタルコンテンツなども充実している、この三点で理由をまとめさせていただきたいと思う。</p> <p>よろしいか。</p>
教育研究研修センター 指導副主査	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、社会についての審議を終わる。</p> <p>続いて地図についての審議を行う。</p> <p>事務局から説明をお願いする。</p> <p>○ 地図についての各者の特徴を説明する。</p> <p>まず、東京書籍である。地図のきまりや使い方を漫画仕立てにし、キャラクターたちが地図を作るというストーリーを通して地図の作られ方やきまりを興味深く学ぶことができるように工夫されている。</p> <p>続いて、帝国書院である。地図マスターへの道では、3段階のレベルで設定された問いが100問掲載されており、児童が興味をもって主体的に地図帳を活用できるように配慮されている。</p>
教育長 全委員	<p>○ 教科書見本または選定資料について質問や確認事項があるか。</p> <p>○ 〈なし〉</p>

<p>教育長 片山委員</p>	<p>○ それでは、各自で検討した結果を案として発表いただく。</p> <p>○ 私は見て楽しいとか見てみたくなる地図帳ということを念頭に置きながら見させていただいた。結論としては帝国書院を推薦したいと思う。</p> <p>理由は、まず岡山市の子どもたちの課題の中に、地図記号の意味は理解できているが、地図から位置や地形、分布等の情報を読むことの課題や、白地図にまとめていくことの課題がある中で、何度も地図帳を見る、その中からその地図の記し方を知って、自分が実践できるようになる力が求められており、帝国書院は地図の約束とか地図帳の使い方を数ページにわたって丁寧に説明がなされていた。そこで地図の見方を分かりやすく示してあって、これなら自分でもできるという意欲につながると思った。</p> <p>それから、地図マスターへの道で3段階のレベルがつくってあるので、子どもの興味によって使い方とかも個人に合わせた使い方で楽しめると思った。</p> <p>また、地図上に様々な情報があって、興味・関心が高まるとは思うけれども、帝国書院のほうですっきりして見やすい。たくさんの情報があり過ぎないというところでよいと思った。</p> <p>それから、もう一つは帝国書院の最後のほうに、「日本の自然災害と防災」ということで、日本で起きた自然災害とか防災の事例を丁寧に扱っておられて、その地図を描く中に防災マップの作り方を掲載されていた。これからの時代において、生きていく力という意味での地図の大切さが意識付けされて、描いてみようという気持ち、地図を描けるようになりたいという子どもの意欲につながっていくと感じて、帝国書院を推薦したいと思った。</p>
<p>河内委員</p>	<p>○ 私も帝国書院の地図がよいと思った。どちらも地図帳の最初に地図のきまりや使い方を学ぶページが設けられているが、帝国書院は丁寧に一つ一つ大切なことについてステップを踏みながら学べるように工夫されている。また、同じように、「地図マスターへの道」というコーナーが楽しいと思って、私もつつい見て、次々やってしまった。非常に楽しく地図帳を活用する力が身に付いていくと感じた。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ 私も帝国書院を案として選択している。</p> <p>理由は、全体的なデザインとか絵柄とか、先ほどの「地図マスターへの道」でゲームをやっているような感覚になり楽しさがあって、子どもが意欲をもって地図を活用しようという気持ちになるのではないかと感じている。</p> <p>また、地図で学ぶ範囲というのはあると思うけども、先ほどおっしゃった災害とか防災というところの地図とか地形とか、大事なトピックとして挙げられているというのは、今後生きていく上で非常に価値があるのではないかと感じている。</p> <p>また、領土問題というのは、これだけ戦争が身近にある中で、重要性が高まっていると感じている。なので、帝国書院のほうで北方領土とか竹島を取り上げて、それが他国に不法に占拠されているということが明記されており、接続水域とか領空とか、ニュースで聞くことについて記載や3Dで説明がされているところがニュースの中でも身近に出てきているので、価値があるのではないかと感じた。</p>
<p>上西委員</p>	<p>○ 私も帝国書院を推したいと思う。理由は二つで、一つ目が地図帳の使い方、冒頭の部分で東京書籍はちょっと字が小さい。学年によっては優しくないなというのがまず一つ。もう一つは、先ほどから出ている地図マスターのクイズのところである。帝国書院は答えがどこにあると書かれていて、最後に答えがきちんと書かれているので自習できるようになっているが、東京書籍の「マップでジャンプ」というのが唐突に出てきて、どこに答えがあるのかよく分からないため、帝国書院を推したいと思う。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ それでは、意見が一致しているようなので、帝国書院を採択したいと思う。採択理由をまとめると、まずは最初の「使い方」が丁寧に充実されている</p>

<p>全委員 教育長</p>	<p>という点が一点。それから、「地図マスターへの道」という項目が、個に応じた答えることができる工夫もあり、ゲーム性がある、楽しんで学べる工夫をされている点。地図帳にここまで要るかという議論もあるかもしれないが、岡山市でも最近災害があり、防災についての内容も価値があるのではないかと という点で帝国書院としたいと思う。</p> <p>よろしいか。</p>
<p>教育研究研修センター 指導副主査</p>	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 地図についての審議はこれで終わる。 それでは、算数についての審議を行う。 まず、事務局から説明をお願いする。</p> <p>○ 算数についての各者の特徴を説明する。 まず、東京書籍である。単元前半は吹き出しや問いを丁寧に記し、後半はそれらを減らしていくことで児童が習得した知識や技能を活用していくことができるように工夫されている。 続いて、大日本図書である。発達段階に応じてプログラミングに挑戦のページを全学年に設け、論理的思考が養われるようになっている。 続いて、学校図書である。「算数で見つきたい！考え方モンスター」を示すとともに、使ってきた考え方を振り返ることができるように配慮されている。 続いて、教育出版である。単元末の「4コマ漫画」では、児童が身に付けた力を次の学年につなげたり生活に生かしたりできるようになっている。 続いて、啓林館である。児童が見通しを立てたり根拠をもって考えたりする様子が例示されたり、複数の考え方が示されたりしており、思考力、判断力、表現力の育成につながるようになっている。 最後に、日本文教出版である。割合に関する学習について、第3学年以降に倍や割合に特化した単元を設け、学習内容を積み上げられるように工夫されている。</p>
<p>教育長</p> <p>全委員 教育長 河内委員</p>	<p>○ 教科書見本または選定資料について質問や確認事項があったらお願いします。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、各自で検討した結果を案として発表いただく。</p> <p>○ 私は、啓林館の教科書がよいと思った。単元構成ということを見ていったときに、主体的に課題解決ができるように、「めばえ、めあて、まとめ、ふりかえり」といった過程を踏んで学習を進める構成になっていること。それから、算数の学習では数学的な見方、考え方を身に付けさせることが大事であるが、啓林館は数学的な見方、考え方を具体的な言葉で明示しているところが特によいと思った。それから、割合の学習に啓林館は関係図を用いており、その関係図で割合を考えるのは分かりやすいので、これがよいところだと思った。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ 皆さんの論点を伺いながらと思っているが、当初案としては啓林館を案として選択している。理由は、岡山市の子どもの課題に書いてあることに最も適合するような、児童が見通しを立てる、根拠をもって考えるなど、複数の考え方を考えるところが課題に最も適合しており、算数の土台となる力を育てていくことができると思っている。二つ目としては、子どもの気付きというのを大事にして、そこから算数の面白さを伝えて、主体的な取組になるように導線が引かれている点を挙げたいと思う。三つ目としては、6年生の教科書では「未来へのとびら」で将来の社会生活と今学んでいる算数がどう結び付くのかを紹介するようなページもあって、意欲が湧くように促されている点も挙げたいと思うが、個人的には「わくわく算数」というタイトルは、算数が苦手な人が見たら余計嫌な気持ちになるのかなと、そういう思いもあって拝見している。</p> <p>あと、迷っているのは、東京書籍は特徴があると思って見ていて、例えば</p>

<p>上西委員</p>	<p>6年生の算数は図形からスタートしていき、ほとんどの教科書が対称図形、線対称、点对称でいきなり入ってくるけれども、東京書籍は「つり合いが取れた図形を調べよう」という一人称で表現がされていて、算数が苦手な人もあまり苦手にならないような、一人称で自分事として進めていくというスタイルは、落ちこぼれを出さないという意図を強く感じ、寄り添っている感じがして、よいと思った。</p> <p>○ 私は啓林館と日本文教出版で悩んだが、結論としては日本文教出版を推したいと思う。単元の表題のつけ方や、細かいところでは例えばページの右上に単元の表示がある教科書とない教科書があって、算数はつながっていくものだと思うので見返すことを前提にしていると思うが、そういうときに表示があると振り返りがしやすいと思うが、意外にその表示がない教科書が多い印象をもった。また、算数は問題を数多く解く必要があるから、単元末尾のドリルの充実度、巻末のドリルの充実度を見て、啓林館と日本文教出版のどちらもよいと思った。</p> <p>啓林館のよいところは、学びのまとめというところのドリル問題で、何ページにその問題があるかをページ数まで明示されていて、それはすばらしいと思った。</p> <p>それにもかかわらず日本文教出版を推すのは、小学生が算数でつまづく単位量当たりの大きさとか割合のところ、日本文教出版はすばらしいと思うぐらいよくできていた。小学校3年生から目次でもそのつながりを示すような形でしっかりと小5、小6までつなげていた。文章をどうやって式に置き換えるか、式をどう操作して答えに導くかについて自分でも学べるような工夫がされていて、非常にすばらしいと思った。以上で日本文教出版を推したいと思う。</p>
<p>片山委員</p>	<p>○ 私も、啓林館と日本文教出版とで悩んだ。いずれの教科書においても、幼児教育での遊びを通しての日頃から算数という数に関心をもって教科学習に興味をもてるように工夫がいろいろされている中で、子どもたちが興味をもって教科の学習につながっていけるだろうと拝見した。</p> <p>まず啓林館は1年生の最初から単元の冒頭に解説動画が示されていて、タブレットをかざすと中身が出てきて、遊びながら学習して、引き込まれていくという仕掛けがあるのがよいと思った。それから、対面授業が一番だと思うが、聞き逃しや、一回だけでは理解が難しい子どもであっても、大切な単元を何度も繰り返して自分のペースでできるのは、6年間にわたって重要なことと感じた。また、「学びのめばえ」から「めあて」、「まとめ」と、学習過程に沿ってタブレットの使用が適宜ちりばめられていて、タブレットを使って学習する内容が、紙面のテキストとプラスして大事な要素だと思っており、その中で啓林館は、思考過程を動画ならではの工夫をして数学的な見方、考え方へ導いているところが、動画をうまく使用されており、よいと思った。</p> <p>一方で、日本文教出版は、丁寧に、例えば1年生でいうと数図ブロックを使われると思うが、花やリンゴやカマキリを具体物で示しておいて、そこから置き換えられるプロセスがある。一歩間に入ることによって、抽象的な思考、目に見えない思考につながっていく前段階が丁寧に示されておりよいと思った。同じく4年生の授業に「倍で大きさをくらべよう」があるが、いきなり抽象的な説明がされている中で、日本文教出版は具体的な問題の中のいわゆる一般的な理解の仕方を一回示した後で知識につなげているので、分かりづらい子どもにとっては理解につながる。日本文教出版は算数が苦手でも具体的に理解しやすくよいと思ったが、総合的に見ると動画も含めてバランスよく個別主体的に取り組めるという意味で啓林館がよいと思った。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 意見が分かれたのでもう少し意見を伺いたいと思う。</p> <p>意見を聞いていると、日本文教出版のほうが丁寧に、苦手な子どもでも取り組める工夫はされていると思ったが、総合的に見るとということになると啓</p>

<p>上西委員</p>	<p>林館というのが意見としては多かったが、いかがか。いずれにしても算数が苦手な子どもにとっては楽しく学べる教科書がありがたいと思うが。</p> <p>○ 啓林館のドリルのところでその前のページの引用が、よいと思う。工夫があって、つまずいた人が行ったり来たりというのが大切だと思うので、啓林館もすばらしいと思った。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 石井委員が言われた東京書籍の一人称ということも、算数をするときにこういう形に入っていくと学びやすいかなと思った。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ どちらがよいのかというのは分からないところがあるけれども、この課題を考えたときに、啓林館のほうが課題にあっている感じを受けている。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 見通しをもって問題を解いていくとか、意欲をもって解いていくところの工夫である。はなから意欲がなかったら取り組まないの、先ほど言った楽しく学ぶというのは本当に基本中の基本だと思う。</p> <p>意見が割れているようであるので、採決してもよろしいか。</p> <p>啓林館がよいと思う方、挙手をお願いします。</p> <p>それでは、それぞれ特徴があってよかったと思うが、採決の結果、啓林館を採択する。</p> <p>採択理由だが、先ほどあった、まずは見通しをもって取り組める「学びのめばえ」や「めあて」、「まとめ」、この中で見通しをもって学べることが一点。それから、河内委員が言われた数学的見方、考え方が身に付くような工夫がされている。もう一点は、石井委員が言われた子どもの気づきを大切にしたい主体的な取組ができる工夫がされている。以上三点でよろしいか。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 以上で算数の審議を終わる。</p> <p>それでは、次に理科についての審議を行う。</p> <p>まず、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>教育研究研修センター 指導副主査</p>	<p>○ 理科について、各者の特徴を説明する。</p> <p>まず、東京書籍である。各学年で主に育てたい問題解決の力に合わせて、「のぼそう！理科の力」のマークが配置されており、思考、判断、表現する力が育まれるように工夫されている。</p> <p>続いて、大日本図書である。「わかったこと」、「結論」が「問題」に正対するように書かれていることで、どのような言葉を使って説明すると明確になるか、分かりやすくなっている。</p> <p>続いて、学校図書である。単元はじめに「できるようにになりたい」や、単元終わりに「できるようになった」が示され、児童が身に付ける力を意識したり、学びや成長を振り返り生かしたりできるように配慮されている。</p> <p>続いて、教育出版である。観察、実験から得られた結果と予想が一致しない場合を取り上げ、自分の考えや調べ方を見直し、科学的に解決することの意義を理解することができるように工夫されている。</p> <p>続いて、信州教育出版である。「方法を考えてみよう」が配置され、既習事項を活用して考えられるように配慮されている。</p> <p>続いて、啓林館である。単元導入と単元末に同じ問題が配置されており、得た知識を活用して考えられるように工夫されている。</p> <p>以上で説明を終わる。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 教科書見本または選定資料について質問や確認事項があったらお願いします。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、各自で検討した結果を案として発表いただく。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ 東京書籍を案として選定している。理科に興味をもつ、好奇心をもつという意味で工夫が見られると感じた。最初のページに各学年でそれぞれ大きい字が書かれており、単純な言葉ではあるが、写真と文字、フォントなど、好奇心が湧くスタートになっていっている。また、自分自身と関係付けられる</p>

<p>上西委員</p>	<p>ような構成になっていると感じている。そして、ほかの科目でも共通するが、東京書籍の教科書は思考の手順が明確に大きく出てきて、それが繰り返し出てくるので、理科で言えばその理学的思考の核が頭に残っていくのが大事なのではないかと感じる中で、岡山市の子どもの課題である理科の見方、考え方を働かせる、あるいは科学的な根拠をもって話し合うというところの原点になっていくのではないかと感じている。</p> <p>○ 私も東京書籍を推したいと思う。本の大きさもあると思うが、字や写真が大きくて見やすい。これが一番で、「問題、観察、実験、まとめ」というシンプルなつくりで、使いやすく見やすいと思ったので、東京書籍を推したいと思う。</p>
<p>片山委員</p>	<p>○ 1、2年生の生活科が終わって初めて出てくる理科の教科ということで、いずれの教科書も3年生の冒頭に学習の進め方に合わせてノートを取り方が示してあって、観察記録なども含めてとても参考になる内容があると思った。</p> <p>その中で私は東京書籍を推したいと思う。理由は、理学的なものの見方をしながら自分なりに見たものを書く、話すというところを重点的に取り上げられていると思った。特に岡山市の子どもたちが科学的な根拠を基に話し合うことに課題があるということで、まずはその話し合う前に自分の考えや、どう捉えたかを明確化することが重要だと思ったので、東京書籍は「書く」、「話す」の前にノートにまとめることにより、新しい疑問が湧く取組があり、そうすることで人の考えを知ることができるのではと感じた。もう一点、東京書籍の場合は、判が大きいことと、イラストが必要な量で厳選されている感じがあり、東京書籍を推薦したいと思った。</p>
<p>河内委員</p>	<p>○ 私も同じく東京書籍の教科書がよいと思った。探究的な学習過程がしっかりしていて、問題を「つかむ、調べる、まとめる」という過程で探究心が深まっていくような問題や実験などが示されている印象をもった。また、写真が魅力的で、興味・関心が引き出されてわくわくしながら学習に取り組める印象もあった。岡山市の子どもの課題には東京書籍の教科書で学んでいくことが適していると思う。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ それでは、意見が一致しているようなので、理科については東京書籍を採択しようと思う。</p> <p>採択理由であるが、子どもたちが主体的に興味をもって学んでいけるような工夫がされている。探究的で学び方がはっきりしている点が一点。もう一点が、レイアウト。情報や写真が適度な形で入っているので、いろんなところへ目が行かないような工夫、レイアウトや写真のよさがある。あと、自分の考えをもつ、そして友達と意見を交わす、そういった流れの工夫もできており、岡山市の子どもたちにとってもその点が重要だと思うので、その三点の理由でまとめさせていただこうと思う。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 理科についての審議を終わる。</p> <p>続いて、生活の審議について行う。</p> <p>事務局から説明をお願いする。</p>
<p>学校指導課 指導主査</p>	<p>○ 生活についての各者の特徴を説明する。</p> <p>まず、東京書籍である。発表の仕方をまとめたページでは、単元ごとに発達段階に合わせた活動の様子や学んだことのまとめ方が明示されていて、情報活用能力の育成につながるよう工夫されている。</p> <p>続いて、大日本図書である。児童が自分の願いや思いを表せるように「きもちマーク」が掲載されていたり、厚紙のワークシートがついており、切り取って学習活動に使ったりできるようにしている。</p> <p>続いて、学校図書である。「ものしりノート」には、観察カードの書き方や野菜の栽培のヒントなどが掲載されており、児童が自ら判断したり表現したりしやすいように工夫されている。</p>

	<p>続いて、教育出版である。単元のはじめに「わくわくスイッチ」というフローチャートを設け、児童が自分のことを振り返ったり、学習のねらいをつかんだりできるように配慮されている。</p> <p>続いて、信州教育出版である。巻物やお願いの手紙に加えて童謡や詩なども多く掲載され、多様な表現方法に触れることができるように工夫されている。</p> <p>続いて、光村図書である。「こんなこともあるかもね」には、学びのきっかけや考えるヒントが絵と言葉で掲載されており、考え、表現する活動の充実につながるようになっている。</p> <p>最後に、啓林館である。「まとめようつたえよう」では、活動を通して情報活用能力が育まれるように活動例が示されていたり、上巻は絵が中心、下巻は文字が中心で、学年に応じた表記の工夫もなされたりしている。</p>
<p>教育長 全委員 教育長 上西委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書見本または選定資料について質問や確認事項があるか。 ○ 〈なし〉 ○ それでは、各自で検討した結果を案としてご発表いただく。 ○ 発行者も多く、各者が工夫されており、内容的には甲乙つけがたいところだったが、結論としては東京書籍を推したいと思う。本の大きさもあると思うが、非常に見やすい。レイアウトや写真、絵のバランス、絵の優しさや、吹き出しをうまく使っており、デザインの部分で他よりレベルが一つ上かなと私は思った。その点を重視して東京書籍を推したいと思う。
<p>片山委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私も東京書籍を推薦したいと思った。 <p>理由は、話す、聞く、書く、読むという活動がバランスよく入っていると思った。それから、様々な人と話す機会を通じて相手によって話し方を工夫し、どう書けばよいかといったことを意図や場面に応じて、書き方も自然に身に付くように構成されていると思った。</p> <p>また、見開きの中央に温かいタッチのイラストがあって、初めて学校に入って構えているところで和むような、子ども目線で題材が捉えられている点も主体的に向き合えるような工夫の一つになっていると思った。</p> <p>それから、様々な視点から教材をつくっているが、「やくそく」というところでは社会的なマナーについて教え込むということではなく、考えさせるように仕向けてあり、必要感をもってマナーを守ることの重要性が理解できるということ、自分が主体的に取り組んで初めて分かることで、岡山市の子どもの課題である、学びを進めるために疑問をもち、気付きを見いだすという主体的な取組の結果で分かることが導き出されていると思った。下巻のほうには、小学校生活に慣れて小学生としての立ち居振る舞いができるようになった子どもの姿がモデルとして示されていたり、他教科とのつながりが出てきて、学年進行に伴う変化も教科書の中に出されておりよいと思った。</p>
<p>河内委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の学習というのは、それぞれの事象に対する興味・関心、わくわく感がほかの教科書以上に学習の大きなベースになると思う。そういった点でどの教科書も様々な工夫がなされていると感じたが、特に心引かれたのが私も東京書籍の教科書である。写真やイラストの用い方が優れていると感じた。多様性や男女共同参画の視点が配慮されて、ほかの教科書でも配慮が見られたが、総合的に見て東京書籍が優れていると感じた。それから、学習したことをまとめる例示も様々なものが載せられていて参考になり、情報や分かったことを的確に表現する力の育成にもつながっていくと思った。
<p>石井委員</p> <p>教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私も東京書籍を選定している。東京書籍は他の科目も共通していると思うが、私というのを大事にして、目次も私で始まっていて、自分の近いところから始まっていくのが最初の1年生で入りやすい、それが写真も含めて入っていきやすい形になっていると思っており、中学年とか高学年になったときの基礎になってしっかり身に付いているところを感じることができた。 ○ 意見が一致しているようなので、生活については東京書籍を採択すること

<p>全委員 教育長</p>	<p>に決定する。 理由については、イラストや写真、レイアウトなどデザインがよい点。子どもにとって見やすい、そして、興味・関心を引き出すような工夫が東京書籍にはあったという点。それから、主体的に考えさせる工夫も随所に見られたという点である。その観点でまとめさせていただこうと思う。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 生活についての審議を終わる。 続いて音楽の審議を行おうと思う。 事務局の説明をお願いする。</p>
<p>学校指導課 指導副主査</p>	<p>○ 音楽についての各者の特徴を説明する。 まず、教育出版である。音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」としてページ上部や巻末に示すことで知識の習得ができるように工夫されている。</p> <p>最後に、教育芸術社である。鑑賞では、児童が旋律の動きや繰り返しを視覚的に捉えることができるように絵譜が掲載されていたり、曲のイメージを感じ取ることができるような挿絵が描かれたりしている。</p>
<p>教育長 全委員 教育長 片山委員</p>	<p>○ 教科書見本または選定資料について質問や確認事項があるか。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、検討した結果を案として発表していただく。</p> <p>○ 私は、教育芸術社の教科書を推薦したいと思った。教科書を比較してみたけれども、教育芸術社のほうは学習に関連する写真が多く掲載されていて、内容がイメージしやすく、また音楽的な学びの要素というのが図示されていて、音符を読むことが苦手な子どもにも分かりやすい工夫が随所に見られた。また、教育芸術社は、単元ごとに見付ける、考える、歌う、演奏するなど活動の視点がとても端的に記されていて学習の流れが分かりやすく、教科書を読んでいて面白いと思った。以上のことから教育芸術社を推したいと思う。</p>
<p>河内委員</p>	<p>○ 音楽の学習は、楽曲そのもののもつ楽しさや魅力を純粋に楽しむことと、その上で楽曲の仕組みを知ってより深く味わうということ、これをうまくつなげていくことで子どもたちがより一層音楽の深い楽しみを知って、音楽の力を育てていくことができると思う。そういった観点から考えたときに、教育芸術社の教科書というのが、楽曲の仕組みが自ら発見できるように、複数の同じような仕組みのある楽曲を一つの題材として系統的に学んでいける構成になっていることが挙げられる。その理論を学ぶことがあまり強過ぎると音楽の楽しさが失われてしまうが、その理論を知っているからこそより深い味わいができるというところを、バランスよく作っていると思った。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ 私も教育芸術社を案として選定している。河内委員が言われた理論とは反対の部分で楽しくという部分においては、みんなで楽しくというコーナーがあり、みんなで取り組むという形が明示されており、またフォントや余白、写真等がすごくバランスが良く、前向きに主体的に学習が進めやすいと感じている。</p> <p>そして、最後に君が代の解説が両者とも載っているが、その中で音楽の範囲ではないかもしれないが、自国への思いや意図、そして他国への配慮等、全体として他者と協働するという課題にリンクするような箇所も感じられた。</p>
<p>上西委員 教育長</p>	<p>○ 私も教育芸術社を推したいと思う。見つける、考える、歌う、演奏するという形で、音楽をどのように聴くか、歌うかということのヒントや視点が示されていて非常によいと思った。</p> <p>○ 意見が一致しているようなので、音楽については教育芸術社を採択しようと思う。</p> <p>理由であるが、河内委員の言われた楽しさと理解を深める学習のバランスがよい点、片山委員が言われた写真が多くあってイメージがしやすい点、最</p>

<p>全委員 教育長</p>	<p>後に学習の流れが分かりやすく主体的に学べる工夫をしている点でまとめたいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 〈承認〉 ○ 音楽についての審議を終わりたいと思う。 次に図画工作について審議を行う。 事務局から説明をお願いする。
<p>教育支援課 指導副主査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図画工作についての各者の特徴を説明する。 まず、開隆堂出版である。児童の活動の様子や動きに焦点を当てた写真が多く掲載されていたり、活動のヒントが吹き出しで示されたりしており、児童自らが考えたり表現したりすることにつながるようになっている。 最後に、日本文教出版である。鑑賞の題材では、児童が話し合う様子や模造紙に書いて共有している様子など、複数の鑑賞の方法が示されており、言語活動の充実につながるようになっている。
<p>教育長 全委員 教育長 河内委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書見本または選定資料について質問や確認事項があるか。 ○ 〈なし〉 ○ それでは、各自で検討した結果を案として発表いただく。 ○ 2者とも魅力的なページが並んでいて、子どもたちの創作意欲がかき立てられると思った。どちらか一つ選ぶのは難しかったが、最終的に開隆堂出版にした。開隆堂出版は、特に工作の分野の楽しそうな活動や目を引くような作品の写真が掲載されているのが印象的だった。また、他の教科と関連した学びができ、学校行事に合わせて図画工作の学習を位置付けるという工夫がされているのも優れている点だと感じた。
<p>石井委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私も開隆堂出版を案として選定している。開隆堂出版のほうが、より自分事から始まる、自分らしさを生かすことにつながっていくような印象と、表現方法とか発想の視点が示されて、主体的に学んでいけると感じている。今の社会生活を送っていく上で、自分の発想力や自分らしさが大事になってきていると感じていて、それが、岡山市の子どもの課題の表したい思いはあるがどのように表現するか分かりにくいことに対して、自分の思いを表現することにつながるという意味で、どちらかという開隆堂出版を選んだ。
<p>上西委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私も開隆堂出版を推したいと思う。内容的にはどちらも素晴らしいと思った。違いがあるのは、開隆堂出版は学習のめあてとして分かりやすく明記されているのが一つ、ほかの教科との関連で併せて学ぼうということで科目名とその内容も少し記載があって、一方、日本文教出版は科目名だけ書いてあって、何か付け足しみたいな印象を受けてしまった。よって開隆堂出版を推したいと思う。
<p>片山委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私も開隆堂出版を推薦したいと思う。理由は、重複しない点で言うと、クロムブックを効果的に使えるような仕掛けがいろいろとあって、用具の使い方や動画をみられる点、作品を360度回すというのが個人的には面白く、作品を裏から眺められて、表したい思いはあるがどのように表現するかが分かりにくいという岡山市の子どもの課題に対し、見えないところを見てみると色々気付いて、主体的な自分の学びにつながって意欲につながっていくのではないかと考えて開隆堂出版がよいと思った。
<p>教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意見が一致しているようなので、図画工作については開隆堂出版を採択したいと思う。 理由は、主体的に学べる工夫がされているという点、表現や発想の例があるので子どもたちも学びやすいという点、他の教科との関連で学べる工夫もされているという点でいかがか。
<p>全委員 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 〈承認〉 ○ 図画工作についての審議を終わりたいと思う。 次に、家庭についての審議を行いたいと思う。 事務局の説明をお願いする。

<p>教育研究研修センター 指導副主査</p>	<p>○ 家庭についての各者の特徴を説明する。 まず、東京書籍である。全ての題材のはじめに学習の「めあて」、終わりにそれに対応した「ふり返り」を設けて、小まめに学習を振り返り、学習内容が定着するように工夫されている。</p>
<p>教育長 全委員 教育長 石井委員</p>	<p>最後に、開隆堂出版である。手順が分かりやすい横流れの調理や製作の写真が用いられているとともに、見開きで作業の工程が示されており、基本的な知識や技能の定着が図られるように工夫されている。</p> <p>○ 教科書見本または選定資料について質問や確認事項があったらお願いします。</p>
<p>上西委員</p>	<p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、各自で検討した結果を案として発表していただく。</p> <p>○ 開隆堂出版を案として選定している。題材のスタートが問いかけで始まっていること、生活の見方、考え方の四つの視点という視点がまとめられていること、学習の進め方が三つのステップで整理されて巻頭に明示されていることが、岡山市の子どもの課題の解決すべき課題を設定する力や解決するための様々な解決法を考えるということ鍛えることに適応しているのではないかと考える。写真やイラストも分かりやすく掲載されていると思う。</p>
<p>片山委員</p>	<p>○ 私も開隆堂出版を推したいと思う。最初に問いかけの形で入りやすいという点、「学習のめあて」という形でチェック欄を設けてステップごとに明示されていて、できたところにチェックできる工夫をされている。最後のところで、習ったことをどういうふう生活に生かすのかを意識させるという内容になっているので、開隆堂出版を推したいと思う。</p>
<p>河内委員</p>	<p>○ 私も開隆堂出版を推薦したいと思う。理由は述べられたので特段目新しいところはないが、全体的に見開きをうまく活用しており、生活に生かす点を順に並べて分かりやすく示されている点が、見通しをもって視覚的に学習範囲を捉えて進めていきやすいと感じた。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 私も開隆堂出版がよいと思った。題材の導入が、上西委員の言われた問いかけから始まって、生活の様々な事柄を改めて見つめ直し、疑問をもって、課題意識が醸成される点がよいと感じた。それから、調理の仕方や縫い方などのポイントが分かりやすい写真や図で示されていて、スムーズに技能の習得もできると思った。</p> <p>○ 意見が一致しているようなので、家庭については開隆堂出版を採択しようと思う。</p> <p>理由は、題材のスタートのところが導入の工夫がされていると点、学習の進め方が明示されているというのがあったが、ポイントが分かりやすい、学習の進め方について分かりやすい説明がされている点。振り返りや生活に生かそうという発展の工夫もされている点で採択しようと思う。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 家庭については審議を終わる。 続いて、保健について審議を行いたいと思う。 事務局から説明をお願いします。</p>
<p>保健体育課 指導副主査</p>	<p>○ 保健についての各者の特徴を説明する。 まず、東京書籍である。学習の流れが四つのステップで構成されており、身近な課題について自ら考え、表現したりできるように工夫されている。 続いて、大日本図書である。「つかもう」で添付の「折り込みカード」を使用することで、児童の主体的に学習しようとする意欲を引き出せるように工夫されている。 続いて、大修館書店である。各単元の導入のページに著名人とキャラクターの会話文が掲載されており、児童が我が国の伝統文化や国際貢献について関心をもつことができるように考慮されている。 続いて、文教社である。各單元には「わたしの〇〇宣言」が設定されてお</p>

	<p>り、児童が学習したことを踏まえて自分の課題と向き合ったり、友達と交流したりできるように工夫されている。</p> <p>続いて、光文書院である。「心の発達」では、「自分の成長と人との関わり」が見開きで示され、児童が広い視野で心身の健康と成長に向き合えるように工夫されている。</p> <p>最後に、学研である。単元のはじめに「ふり返る」、「例を挙げて話し合う」、「学びを生かす」という学習の流れが示され、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるようになっている。</p>
<p>教育長</p> <p>全委員 教育長 上西委員</p>	<p>○ 教科書見本または選定資料についての質問、確認事項があったらお願いします。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、各自で検討した結果を案として発表していただく。</p> <p>○ 東京書籍を推したいと思う。章の冒頭に目標が明示されており、他教科とのつながりも書かれている。項目ごとに学習の進め方として「気づく・見つける」から「まとめる・生かす」まで明示されていて、使いやすい。児童も理解して進めやすいと思った。また、書き込み欄が充実していて、児童が自分で手を動かして学習していくことが使いやすいと思ったので、東京書籍を推したいと思う。</p>
<p>片山委員</p>	<p>○ 私も東京書籍を推薦したいと思う。四つのステップで学習内容が見通しをもって進めやすくなっていること、自由記述や穴埋めの問題も随所にあって、問いかけに関して自分なりに回答していくことが繰り返して出てきて、主体的に学べると思った。そして、「心の健康」の章について、この年代の子どもの不安や悩みの様子を具体的に取り上げて、その対処につながる可能性を示している感じがした。クロムブックも利点を生かして、けがの防止を自分事として配慮できるような仕掛けがあって、子どもの学習も進みやすいと感じた。以上から東京書籍を推薦したいと思う。</p>
<p>河内委員</p>	<p>○ どの教科書も課題をつかんでそれを解決していく過程を幾つかのステップで設定しているが、東京書籍の教科書は「気づく・見つける」、「調べる・解決する」、「深める・伝える」、「まとめる・生かす」という主に子どもの思考の流れで設定されていて、学習を深めていく学び方が分かりやすく身に付きやすいと思った。また、学習を深めるための資料が単元の終わりに適切に提示されていて、授業の中のどこでその資料を用いるか、授業者が工夫しながら授業できるのがよさの一つであると感じた。したがって、東京書籍の教科書がよいと思う。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ 学研を案として選択している。最もよいと思ったのは、先ほどの図工でもあったが、学研は今回巻頭で問いかけがされていて、それが岡山市の子どもの課題である身近な生活における健康に関する課題を捉えることに課題がある点に一致していると感じている。また、学習の進め方も各者工夫されているが、学研についても振り返る経験を基に「調べる・話し合う」、「学びを生かす」等、単元の最初のところに学習の進め方として円グラフの形で分かりやすく提示されていて、進めやすいと感じた。写真等も多く配置されており、もっと知りたい、調べたいという好奇心がもてるような工夫がされていると思う。</p>
<p>教育長</p> <p>上西委員 教育長</p>	<p>○ 意見が分かれているのでもう少し意見を伺いたいと思う。学研についての意見が出たが、いかがか。</p> <p>○ 学研は二番目によいと思った。</p> <p>○ 今出た観点は、基本的には導入の工夫、学習の進め方の工夫、資料、書き込み欄等、発展の工夫が出たが、そのあたりを総合的に見ないといけないと思う。</p> <p>甲乙つけがたいが、採決してもよろしいか。</p> <p>まずは東京書籍がよいと思う方。</p>

<p>学校指導課 指導副主査</p>	<p>学研がよいと思う方。 三対一なので、採決の結果、保健については東京書籍を採択する。 理由は子どもたちが興味・関心をもてるような導入の工夫をされている点、四つのステップで学びながら分かりやすいという点、資料が充実しており書き込み欄の充実が見られる点。学研も同じような観点だとは思いますが、採決の結果、東京書籍を採択する。 保健の審議を終わりたいと思う。 続いて外国語について審議を行う。 事務局から説明をお願いします。</p> <p>○ 外国語の教科用図書について説明する。 まず、東京書籍である。「Enjoy Communication」では、自分の言いたいことをまとめるコーナーが設けられており、児童が考えをあらかじめ整理することで内容が充実したやり取りや発表ができるように工夫されている。 続いて、開隆堂出版である。「Let's Listen and Read」や「Let's Write」では、十分音声で慣れ親しんだ表現を音声で聞きながら指で追いつき、書き写すことができるように工夫されている。 続いて、三省堂である。Unitを貫く目標を児童が設定することで、見通しをもって学習を進めることができるとともに、その目標を意識した振り返りができるように工夫されている。 続いて、教育出版である。「名所・名物マップ」などを基に言語活動を行うことで、児童の国内外への興味を広げられるように工夫されている。 続いて、光村図書である。「世界の友達・You can do it!」では、映像資料を通して外国の文化や日本の魅力を伝える活動が設けられており、日本や外国の文化等について話すことができるように工夫されている。 最後に、啓林館である。「Challenge」では、表やグラフ、パンフレット等を見ながら英文を聞いて必要な情報を読み取る発展的な学習が行えるように工夫されている。</p>
<p>教育長</p> <p>全委員 教育長 片山委員</p>	<p>○ 教科書見本または選定資料について質問や確認事項があったらお願いします。 ○ 〈なし〉 ○ それでは、各自で検討した結果を案として発表いただく。 ○ 私は、開隆堂出版と東京書籍とで迷ったけれども、開隆堂出版を推薦したいと思う。3、4年生で学習したことを、5年生の教科書でその振り返りを基にスタートしており、最初がすっきりしていると思った。そして、各単元の冒頭に「Let's Watch and Think」が設けられて、動画が見られるようになっていて、学習の見通しをもって授業に取り組みやすと感じた。また、聞く、話す、読む、書くの四つのスキルがバランスよく組み込まれている。特にリスニングで、岡山市の子どもの課題の中に、「具体的な情報を聞き取ったり、概要を捉えたりすることに課題がある」ことに関わって、開隆堂出版の教科書の中には、リスニングでは正確な聞き取りができているのか、クイズ形式になっており、楽しみながらリスニングをする工夫がされている。また、他者とコミュニケーションをとりながら共に学ぶスタイルで、特に相手のことを聞くことが自然にできるような内容が盛り込まれていると思ひ、開隆堂出版がよいと思った。</p>
<p>河内委員</p>	<p>○ 私は、東京書籍と三省堂とで悩んだ。東京書籍は、内容もすばらしいが、何ととっても魅力的な絵や写真、色使いで、目にするだけで楽しい学習にいきなわれるといった感じがした。一方、三省堂は、この1年間の学びを大きく三つのユニットで構成している。ユニットの始まりのホップでユニット全体を見通して、ユニットの終わりにどんな自分になりたいか思い描いて目標を立てる、ということ、ホップからステップ、ジャンプへと学びの過程、プロセスを体に刻んで学び方を身に付けるという主体的な学び手を育てる構成</p>

<p>石井委員</p>	<p>になっているところがすばらしいと思った。どちらも捨てるのが難しいが、悩んだ末、そういう単元構成の面から見て三省堂がよいと思った。</p> <p>○ 私は東京書籍がよいと選択した。岡山市の子どもの課題を挙げると、「テーマに基づいて会話のやり取りを続けることに課題がある」ということで、定型なことではなく、テーマに基づいて自由に会話をするということだと思いが、そういう会話の設定がたくさん東京書籍には挙げられている。そういうツールもたくさんあったと思っている。あとは、東京書籍のコンテンツというのがより興味をもてるような写真や設定になっていると感じて、より主体的に学ぶができるのではないかと感じた。</p>
<p>上西委員</p>	<p>○ 東京書籍を推したいと思う。内容的にどこも工夫されているが、東京書籍が、一番書き込み欄が充実している。いろんな形で書き込む、児童が参加していきやすいように、受け身にならないように関わっていきやすい書き込みが工夫されていて、児童が自分で聞いてみる、読んでみる、書いてみるができるような工夫がされていると思ったので、東京書籍を推したいと思う。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 東京書籍、三省堂、開隆堂出版と意見が分かれたが、追加の意見があればお願いします。</p>
<p>片山委員</p>	<p>○ 先ほど開隆堂出版を推したいと申し上げたが、東京書籍も悩んでおり、単元ごとにどこまで達成できたかという見通しが最初に示されていて、課題としては取り組みやすいと思った。また、個別学習と、相互にコミュニケーションと段階的に個別学習から他者とのやり取りに進められる点もよいと思い、皆さん東京書籍を推しているのでも、私も東京書籍がよいと思った。</p>
<p>教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ もう少し意見があるか。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ 意見も出尽くしたので、採決を取ってもよろしいか。 まず東京書籍がよいと思った方。 三省堂がよいと思った方。 採決の結果、三対一で東京書籍を採択しようと思う。 採択理由は、絵や写真が充実して学習に興味を湧きやすい点、主体的な学習の工夫がされている点、学習の見通しをもって学べる点、そのあたりでいきたいと思うが、いかがか。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 外国語についての審議を終わりたいと思う。 小学校最後になるが、道徳についての審議を行う。 事務局の説明をお願いします。</p>
<p>教育研究研修センター 指導主査</p>	<p>○ 道徳についての各者の特徴を説明する。 まず、東京書籍である。「どんな学びをするのかな？」には、自己を見つめる際の考え方が例示されており、授業で学んだことをこれからの生活や学習に広げていくことができるように工夫されている。 続いて、教育出版である。「学びリンク」には、関連する図書やウェブサイトが紹介されており、児童の興味・関心を高め、学習を広げることができるように工夫されている。 続いて、光村図書である。「考えるヒント」には、児童が考えを整理し深めていくための活動が紹介されており、主体的に道徳的価値や自己の生き方について考えを深め、表現できるように工夫されている。 続いて、日本文教出版である。「ぐっと深める」には、自分との関わりで問題を捉えられるような発問や具体的な活動例が示されており、児童が自分の考えを深め、友達と話し合うことができるように工夫されている。 続いて、光文書院である。「かんがえよう」、「まとめよう」では、道徳的価値について自分の考えを深めていけるような発問例が示されており、児童が</p>

<p>教育長</p> <p>全委員 教育長 河内委員</p>	<p>主体的に道徳的価値について考えることができるように工夫されている。</p> <p>最後に、学研である。「心のパスポート」では、学んだことに関連する資料や発展的な課題が掲載されており、児童が考えを深めることができるようになっていく。</p> <p>○ 教科書見本または選定資料についての質問や確認事項があればお願いします。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ 各自で検討した結果を案として発表いただく。</p> <p>○ 日本文教出版の教科書がよいと思った。よりよく生きるために、もっとすてきな自分になるために、それぞれの道徳的価値を捉えて考えを深めることができるように、この教材の最初の問いかけや学習途中の発問が明示されており、また「ぐっと深める」というコーナーが設けられており構成がすばらしいと思った。</p> <p>日本文教出版だけ道徳ノートが別冊になっている。そのことについては賛否両論あると思う。ノートを書き込まなければいけない、使わなければいけないとなってしまうのか、ノートがあるから先生方が準備しなくてもそれを用いてできて、子どももずっとそれが1年間通して自分の成長の記録になっていくのか。一つにまとまることで、一長一短あつて考えたが、ノートがあることで先生方も忙しい中で教材研究に集中して時間を設ける一助になり、子どもたちにとっては書くことで考える、継続して行える。書いて考えることにもなるので、メリットのほうが大きいと考えた。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ 東京書籍を選択している。理由は、子どもに寄り添っている内容になっていることを挙げさせていただきたい。1年生から6年生まで「心のちから持ちをめぐして」というのが裏表紙に書いてあるが、よりよく生きようや、正しくあろうという押しつけではなく、子ども一人一人に寄り添っていると感じることができる。6年生の教科書では、どんな自分も本当の自分という副題がついているが、多感な時期に差しかかる子どもの自己肯定感を高めるような仕掛けになっていると思う。それから、自分の考えを可視化するツールが用意されていて、自分の心を捉えるテーマとなっていてよいと思う。そういった自己肯定感を高めた上で、だからこそ言いづらいという思いが言えて、オープンに表現しやすい設定がされていることで自分の考えを深めて、岡山市の子どもの課題にあるのは「道徳的実践に結び付ける」ということがあるが、それは自分を認めて他人を認めてというところの入り口として、自己肯定感を高めることが何よりも大事ではないかと感じている。構成も非常に分かりやすい。</p>
<p>上西委員</p>	<p>○ 私は石井委員と少し見方が違うが、教科書を見て気になったことが、自分が出過ぎているのではないかと感じた。今言われた「どんな自分も本当の自分」や、「君が一番光る」、「羽ばたこう明日へ」、「自分のことを好きになる」、「道徳はあなたのなりたいを応援」、「自分らしく輝こう」、こういう言葉がたくさんある。道徳とは何かというのは非常に難しいが、自己実現とか、そういうものとは違うところにあるものではないかと私は考えていて、なぜ教科書をつくる方がこういう表題を使ってしまうのか、私は違和感を覚えた。</p> <p>結論としては、私は日本文教出版を推したいと思うが、日本文教出版は、また石井委員と違うが、最初の道徳の扉として冒頭に「よりよく生きるために大切なこと」と書いてある。1年生から書いてある。道徳が何かというと、捉えにくいけれども、基本的にはよりよく生きるということで、どう生きていくかというところを考えさせる科目だと思うので、私は他の発行者は少しそこをごまかしているように見えた。そのことが表れているのは、日本文教出版は、自分と周りの人といったらみんな社会である、あと生命、自然というものの位置付けやイメージ図が、自分がそこに囲まれていて、その中にいるというのを意識させている。他の発行者は並列に描いていたりする、自分</p>

	<p>と別々のものとして捉えたりするような見方につながるような配置をしていて、私は違和感があるところが多かった。この中で、今申し上げたように日本文教出版はそういうところを押さえてつくられていることが一番推す理由であるし、先ほど河内委員が言われたように、私は道徳ノートというのを肯定的に評価していて、これは使いやすいという実践的な意味も含めて、結論として日本文教出版を推したいと思う。</p>
片山委員	<p>○ 私も、日本文教出版を推薦したいと思う。道徳の扉のところでは各学年の発達段階を考慮した、「よりよく生きるために大切なこと」が具体的に示されていて、日常の自分について、子ども自身が自分事として気付いて考えていけるような工夫がされていると思った。さらに、学び方として、話し合ってみる、動いてみる、書いてみるということで、様々な作業を通して自分なりの考え方をつくっていけるような、プロセスも大事にされており、話し合い活動やロールプレイ、ワークシート等を用いて書く活動も大切にしながら考えが深められるような、いろんな視点から思考が深められる、取り組めるような工夫があると思った。</p> <p>教材の冒頭のQRコードから「心情メーター」というのが3回分入力できるようになっていて、最初に思った自分、いろんな人の意見を聞いて思った自分、最後に思った自分、そういう自分なりの変化の過程を捉えられるような仕掛けもあり、面白いと思った。シンキングツールに思考の仕方が図示されていて、いろんな価値観、いろんな考え方というのに触れてみるという仕掛けが見られて、日本文教出版がよいと思った。</p>
教育長	<p>○ 意見が分かれているので、もう少し追加のご意見をいただきたいと思うが、いかがか。</p> <p>物理的なものでいうと道徳ノートは自由日記というか枠が広いから抵抗感はありません、学校独自で担任の裁量で使える。</p>
河内委員	<p>○ 私も二番目によいと思ったのは東京書籍で、先ほど対立しているような感じだが、並列ではなく、自分のよいところをしっかりと見つけていき、自分の中にはできない自分もあるし、できる自分もあるし、いつも揺れ動いていて、それで何か葛藤するけれど最後にできる自分が増えていくとよいというのが道徳の時間の中でつくられていったらよいので、やはりそうになると、自分のよいところや自信を見つけていくことによってなりたい自分になっていくところがある。</p>
上西委員	<p>○ この世界に私しかいなかったら道徳は要らない。要するに相手がいる、社会があるからそういうものが必要になるわけで、そこを意識させるというのは必要だと思っていて、先ほどのイメージ図でいうと、この並列に違和感があって、日本文教出版の絵のほうがイメージとしてよい、どういうものに支えられているのかということや1年生から少し感じさせていくということの意味があるかなと思っている。自分を出し過ぎるのはどうかと思う。</p> <p>あえてそういう言葉を使う発行者が多いのが、違和感がある。道徳で言う話ではなく、違うところで言うべきではないかという。</p>
石井委員	<p>○ 出発点になることが自分になっている、自分がどう感じるかというのはいろんなところがあるので、その起点としてそれを捉えているかだが、最後のゴールは上西委員が言われるとおりにだと思っている。</p>
教育長	<p>○ 授業で言うと、やはり価値の押し付けではないから、河内委員が言ったとおり、いかに本気で葛藤できるかである。</p>
上西委員	<p>○ 自分と社会との中での葛藤だと思う。</p>
教育長	<p>○ 周りの絡みがあるから葛藤が生じる。</p>
上西委員	<p>○ 自分を見ていたら葛藤なんてないと思う。</p>
教育長	<p>○ ただ、自分を見つめ直すという点もあるから、その辺がバランスだろう。</p>
石井委員	<p>○ 先に社会が前面に出てくると、ありがちな答えになって表面的な勉強になってほしくない。</p>

<p>教育長</p>	<p>○ 甲乙つけがたいが、採決でもよろしいか。 日本文教出版社がよいと思った方、挙手をお願いします。 東京書籍がよいと思った方、挙手をお願いします。 三対一ということで、日本文教出版に採択する。 議論が深まってよかったが、観点は考えを深めさせるような工夫である。 そして、多様な学び方の例があり、道徳ノートは物理的なものになるが、道徳ノートも書いて考えを深めるという点では有効ではないかという点、そのあたりをまとめてよろしいか。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈承認〉 ○ 道徳の審議を終わりたいと思う。 それでは、小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書についての採択を終わる。 事務局から続けて説明をお願いします。</p>
<p>学校指導課長</p>	<p>○ 中学校及び義務教育学校の後期課程で使用する教科用図書についてお願いをする。 中学校及び義務教育学校後期課程、岡山後楽館中学校で使用する教科用図書についてお願いします。 中高一貫校である岡山後楽館中学校については、他の中学校とは別に採択を行うことができるが、岡山市においては他の中学校と同じ教科用図書採択を行っている。 現在使用している教科用図書は、お手元の資料1ページから4ページで示していて、これら全てを採択いただければと考えている。よろしく願います。</p>
<p>教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ 何か意見があるか。 ○ 〈なし〉 ○ 意見がないようであるので、原案のとおり採択するということがよろしいか。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈承認〉 ○ 案のとおり採択することとする。 事務局から続けて説明をお願いします。</p>
<p>学校指導課長</p>	<p>○ 特別支援学級で使用する教科用図書についてお願いします。 特別支援学級で使用する教科書については、より児童・生徒の実態に合った教科用図書を使用するというので、各学校で選定委員会を組織し、採択いただいた教科用図書を選定している。事務局で必要な指導・助言を加えた上で、令和6年度使用特別支援学級教科用図書選定資料を取りまとめている。本日はその資料にある絵本等の一般図書165冊と文部科学省の著作本19冊の計184冊全ての採択をお願いしたいと考えている。</p>
<p>教育長 学校指導課長 教育長 全委員 教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ プリントを教科書として扱うのか。 ○ そのような場合もある。 ○ 何か意見や質問等あるか。 ○ 〈なし〉 ○ 原案のとおり採択するということがよろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ 原案のとおり採択ということでお願いします。 事務局から続けて説明をお願いします。</p>
<p>学校指導課長</p>	<p>○ 岡山後楽館高等学校用教科用図書について採択をお願いします。 岡山市立岡山後楽館高等学校の選定委員会によって選定された教科用図書の一覧と別に準備している選定理由書を基に採択をお願いしたいと考えている。 なお、選定理由書に第1部とあるのは、平成30年度の学習指導要領に沿った教科用図書ということである。</p>

<p>教育長 全委員 教育長 全委員 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高等学校の教科用図書であるが、何か意見、質問等あるか。 ○ 〈なし〉 ○ 原案のとおり採択するということによろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ 原案のとおり採択することとする。 <p>以上で本日予定していた教科用図書採択についての審議は終了するが、事務局から連絡があれば願います。</p>
<p>学校指導課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後、採択図書をまとめ、県教育委員会へ報告する。 <p>なお、採択に係る資料、採択教科書、採択理由書などについては、教科書の採択に関する信頼を確保する観点から、法で定められた採択の時期である8月31日までは公表を控えていただき、それ以降にホームページでの公表としたいと考えている。</p>
<p>教育長 全委員 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今の件について、何か質問、意見等あるか。 ○ 〈なし〉 ○ 以上で終了する。 <p>第20号議案を原案どおり可決してよろしいか。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 〈承認〉 ○ 第20号議案を原案どおり可決する。 <p>日程第5に入りたいと思う。</p> <p>日程第5、報告第20号を学校指導課から説明願う。</p>
<p>学校指導課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岡山市地域協働学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則を次のように定める。会則の第10号ということをお願いしたいと思う。 <p>これは、昨年度から資料等を出しながら、来年度改定するという話をしてきたと思う。今年度4月1日に遡って決定するという形が一番すっきりするということで、改めてここで審議をいただければと思っている。</p>
<p>教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ この件について意見、質問等があったら願います。年度替わりで4月1日施行ということをお願いできたらということであった。
<p>全委員 教育長 全委員 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 〈なし〉 ○ 報告第20号を承認してよろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ 報告第20号を承認する。 <p>次に、非公開の審議に移るので、関係者以外の方は退席願う。</p>
<p>傍聴の状況</p>	
<p>報 一</p>	<p>道 般</p> <p style="text-align: right;">0名 12名</p>